脳神経センター長からの一言 vol.15

脳神経内科は常勤医 9 名に増えました

医師数と診療の質の密接な関係

当院の脳神経内科は、これまでも常勤医 8 名（全員が日本神経学会認定脳神経内科専門医）と、大学病院を除く福岡市内の一般病院では最も多い病院の一つでしたが、この 7 月から脳神経内科の常勤医が 1 名増えて、9 名になりました。月曜日から土曜日の午前中まで、毎日外来診療を行うとともに、入院も 40 名前後の入院患者さんを常時診ています。

脳神経内科常勤医が多いと、外来も常に複数の脳神経内科専門医が出ることができますので、診察の待ち時間が短くなり、より多くの患者さんが早く診療を受けられるようになります。医師数が少ないと、アクセスや診療の質に制約が生まれがちですが、当院ではそのような心配は全くありません。どの曜日に来院されても脳神経内科専門医の診療を受けることができます。ただし、完全予約制ではありませんが、脳神経内科は初診時に詳しく病気の経過をお聞きして、時間をかけて丁寧に神経の診察をするために大変時間がかかりますので、事前に初診時は予約を入れていただくのがよいと思います。その方が待ち時間が少なくてすみます。

脳神経内科は、認知症から頭痛、脳卒中、パーキンソン病、神経免疫疾患、それ以外の神経難病や遺伝性神経疾患、脊髄・末梢神経・自律神経・筋肉の病気まで幅広く診療していますので、脳神経内科医のなかでも、より認知症が専門であるとか、神経免疫疾患が専門であるとか、パーキンソン病関係が詳しいとかといったことがあります。脳神経内科医が多いと、脳神経内科の専門医同士の間で連携がしやすく、それぞれより専門の病気についての的確な助言を受けやすく、複雑な脳神経疾患への対応力が高まります。このことが、診療の質の向上に直結します。当院脳神経内科には、脳神経内科専門医はもちろんのこと、認知症専門医、脳卒中学会専門医、神経免疫認定医、老年内科専門医、頭痛専門医、脳波・筋電図専門医など多くの専門医資格を持っている医師が勤務していますので、診療の質がとても高く保たれています。

医師数が少ないと一人あたりの負担が重くなり、過労による診療ミスや精神的ストレスが増える可能性があります。医師の燃え尽き症候群とよく言われます。当院では脳神経内科の

常勤医が多いことで、余裕をもって診療にあたることができます。医師も身体的にもメンタル的にも元気な方が、いい診療ができますね。

2025年7月17日
福岡中央病院 脳神経センター長
吉良潤一